

報道関係 各位

## 平成 30 年度厚生労働省「からだの痛み相談・支援事業」 市民公開講座『痛みを負けないカラダとこころの作り方』開催

長引く痛み（慢性痛）を有する患者さんは意外にも多く、先進国では人口の約 20%で、日本では約 2000 万人が苦しんでいるとされています。痛みのために、満足できる生活を送られなくなり、家族関係が悪化したり、さらには、仕事にも影響が出るなど社会的な問題となっています。労働生産性の低下によって引き起こされる社会的な損失は 1.8 兆円と試算されており、現在、厚生労働省は慢性痛対策に力を入れています。

慢性痛は、「治療をうける」（治療を施される）ことだけでは治りにくく、患者さん自らが積極的に「自分で痛みを負けないからだを作る」（治癒力や考え方を強化する）ことが必要不可欠です。

厚生労働省「からだの痛み相談・支援事業」では、長引く痛みにお困りの患者さん、ならびにご家族の方や慢性痛に興味のある方を対象に市民公開講座を行い、「慢性痛治療」の考え方を広く市民の皆様に伝え普及する活動を行っています。

今回の市民公開講座では、慢性痛患者さんの意識を「治して欲しい」から「治りたい」と思ってもらえる良い機会としてもらうため、痛みに対する対処の仕方や予防方法など、自分でもできる治療法について、さまざまな分野の専門家がお話しします。

日 時： 1 月 14 日(月・祝) 13:30～15:00 (開場 13:00)

会 場： 川崎医科大学総合医療センター 2 階 川崎祐宣記念ホール  
(岡山市北区中山下 2 丁目 6 番 1 号)

対 象： 一般

定 員： 150 名 / 事前申込必要 (1 月 11 日(金)申込締切)

※空席がある場合は当日参加可

参加費： 無料

※詳細は、別紙チラシ参照

<問合せ先>

川崎医科大学附属病院

麻酔・集中治療科

市民公開講座係

Tel 086-462-1111(代)